

財っ子通信

平成28年度 第5号

文責 校長：三樹和幸

やりたいこと できることが増え

やらなければならないことが 確実に定着し みんなが伸びる学校

財光寺小学校

電話：54-2825

校長 Email:

zaikoji-k@hyugacity.jp

感動を有り難う～運動会秘話～

私は開会式の中で子供たちに「4人の人を感動させて下さい」とお願いしました。

まずは、自分自身

この運動会が終わったときに、本当に全力を出せたと自分に感動できること

二人目は、ともだち

スローガンにもあるように心と絆が一つになって、一人ではできない運動会をあなたの一生懸命の協力で友だちを感動させること

三人目は、家族や地域の方

成長している確かな姿とはじけるエネルギーで家族の方や地域の方を感動させること

四人目は、先生

本番まで、練習ではいろいろ厳しい指導もされたけれど、しっかり、その指導を自分のものにして、指導して下さった先生を感動させること

この話を真剣に聞いている子供たちに、運動会の成功を確信したのですが、予想していなかった雨に見舞われ、子供たちの体操服がみるみる濡れ、髪もベッタリとなってしまった運動会の始まりでした。

「このままの勢いで雨が降り続いたら、中断や延期もあり得る」と思い、回復することを祈りながら携帯で雨雲レーダーを確認すると、雨は一時的なものであると分かりホッとしました。グラウンドコンディションの関係で、前半4つのプログラム順を変更し、その後は、計画通りに進めました。もしかすると、プログラム変更により、お子様の演技を観ることができなかった方がいなかったかと心配しています。どうかご容赦下さい。

しかし、私が開会式で話した4人の感動話は、しっかり聞くことができ、良かったと安堵しているところです。その4人の秘話を紹介します。

秘話1 (6年生の想い)

子供たちが主役の運動会にしたいという6年生の先生方の思いから、主体的に考える運動会にすべく、本校のキャリア教育の研究を生かしました。日向ひよっとこ夏祭りの実行委員長の是沢社長に来てもらい、大きな行事を成功させるために必要なことのお話をして頂きました。

また、福岡工大附属高校応援部顧問の先生に来てもらい、応援の意味や態度について指導して頂きました。さらに、全体での練習では、教師が注意事項を言って練習を始めるのではなく、6年生が、今日の全体練習で気をつけることを全体に伝えて始めました。全体練習での終わりも6年生に反省点を全体に投げかけさせました。

結果として、自分たちが作り上げる運動会という意識が高まり、来賓の方々から「今年の応援は、いつもの年に比べてさらに良い」とお褒めの言葉を頂くことができました。

自分自身に感動できた運動会になったと思います。



秘話 2 (ともだち)

小学生にとって、運動会の点数途中経過は、本当にドキドキものです。そんな中、リレーでのバトンが落ちたり、走路妨害などで順位が入れ替わって、得点が伸びないことは一大事のはずです。しかし、本校の子供たちは、競技が終わった選手に、等しく「よくやった、よくやった」と大きな声援を送ることができていました。

また、ダンスや隊形変化の苦手な子どもに、友だちが優しく声をかけている場面、組み体操では、歯を食いしばって友だちを落とさないと頑張っている場面を多く見ました。

きっと、友だちに感動できた運動会になったはずです。

秘話 3 (PTA役員の想い)

「今年のPTA団技はどうしましょうか」と、役員会で相談があって、協議を重ねた上で今回の形になりました。役員の思いは一つ、いかにして運動会を盛り上げ、保護者の方々にも参加者として楽しんでもらうかでした。

「100M走を入れたら、地区によっては嫌だという人が出てくるのではないか」

「100M走を省いたら、親の力強さを見せる機会がなくなってしまうのではないか」

など、一つ一つの内容には様々な立場での検討が何度も夜遅くまであったのです。その様子を見ながら、我が子だけではなく全体を盛り上げようとする有り難い思いを感じ取ることができました。当日は、「みんなの運動会」の雰囲気を広げた東原さんの名アナウンスも、そういう思いがあったのでしょう。地域や保護者を感動させようと投げかけた私ですが、地域や保護者の方々の動きに私が感動させられました。

秘話 4 (先生方の想い)

今年の運動会は、練習期間が短かった上に台風による臨時休校まであり、十分な練習ができずに本番を迎えてしまいました。先生方は、自分たちの学年や学級の子供たちの素晴らしい演技の出来映えを目指して、運動場をフィールドとトラックに分けて効率的に練習を進めました。時には大きな声での指導もありました。やり直しも勿論ありました。それは、子供たちの最高の力を本番で引き出すためでした。各学年の演技が終わるたびに、涙が頬を伝う先生、目を真っ赤にする先生達でした。想いのある先生方に支えられている財光寺小学校だと認識を新たにしました瞬間でした。

挨拶、挨拶、なぜ挨拶？ part 2

どこの会議に出ても、挨拶が大切だと皆が言います。なぜでしょう。

前回に引き続き、考えてみます。

挨拶には、タイミングがあります。相手の目と自分の目が合った時、その人との距離も大切です。このタイミングが分からない子が、例えば柔道で相手の呼吸を読んで技をかけることができるでしょうか？ 剣道で一本を取る瞬間を見逃さないでしょうか？ 集団スポーツで仲間のアイコンタクトを感じてパスが出せるでしょうか？

将来、大人になってから鍛えるには遅いと思います。

これから、いろんな人と出会い人生を広げる子供たちには、しっかりとした挨拶を身に付けて欲しいです。

挨拶は、「今、自分はあなたに心を開いてますよ」のメッセージ表現でもあります。

10月から、子供たちは名札をつけて登下校を始めます。

交通立番などで、子どもの名を呼んで挨拶をしていただけたら有り難いです。